

助成事業実施報告書

団体名 清瀬市子ども食堂連絡会

代表者・役職名 氏名 福本麻紀

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

子ども食堂連絡会 ハロウィンまつり

2. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度

清瀬市内子ども食堂6団体が10月末から11月初めにかけてハロウィンまつりを行いました。

各子ども食堂が実施しやすい方法で、①通常の子ども食堂開催日に、子どもにお菓子を配る、②子ども食堂に参加している子どもが地域家庭を訪問しお菓子を集める、③子ども食堂に参加していない子どもも含めて、子どもが家庭を訪問してお菓子を集める、3つのパターンで実施しました。

③の参加者を集めるために、教育委員会の許可を得て、小学校へちらしを配布し、参加者とお菓子を配るホストファミリーを募集しました。

一般家庭、訪問介護事業所、障害者施設や児童養護施設、商店などの協力を得て、お菓子の配布をしていただきました。

3. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度

6か所の子ども食堂が参加し、合計138人の子どもが参加しました。お菓子の配布に協力してくれた家庭と事業所、商店が18箇所あり、子ども食堂と家庭や福祉事業所、商店とつながることができました。

児童養護施設の子どもや、「子ども劇場」の子どもなどが参加し、子ども食堂を利用することのなかった子どもが参加することができました。地域の保護者が手作りのお菓子を差し入れしてくれるなど、新たな交流も生まれました。

小学校2校にちらしを配布することができ、学校の先生のみならず、地域の保護者にも子ども食堂の存在を知らせることができました。

ハロウィン実施後、地域の保護者から子どもの居場所や食堂についての問い合わせや、ハロウィンのホストをやりたいなどの声が聞けるようになりました。

4. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字程度

市内全域で実施し毎年の定例行事としてハロウィンを定着させていきたいです。

それによりクローズ型、オープン型問わず、市内全体へ子ども食堂、子どもの居場所を周知出来、ボランティア確保、参加する子どもの増加が見込まれます。

ハロウィン以外にも、地域の子どもと大人との相互交流の場を市内に増やしていきたいと思っています。

5. 参考資料

プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等のデータ。活動の様子がわかる写真などを必ず別途ご提供ください





おひさまネットワーク

福本 麻紀さんの投稿

2022年11月3日 · 🌐



スパイダーマン優勝！
 ハロウィン企画 by 清瀬市子ども食堂連絡会おひさまネットワーク
 真如苑助成金
 学生さん引率して4グループに分かれ、6ヶ所のポイントまわりました。
 学生にみなさん、保護者の方、ホストファミリーもみなさん
 ありがとうございました。



[インサイトと広告を見る](#)

投稿を宣伝

👍 いいね! 💬 コメントする ➦ シェア

📷 コメントを入力...

